

故郷への想い

第二次大戦後、若い労働力が大都会へ流出、経済復興の原動力となった。一方、農村は人口減少、高齢化し、農業の近代化が遅れた。農産物は良質でも価格競争力を失い、食糧自給率は40パーセントを下回っている。主食のコメは別として、大豆の95パーセントを輸入に頼っている。農政は守勢に立ったままである。

昨今の世界大不況を背景に、農業見直しの機運が高まることを私は期待している。Uターンや都会の若者が農村に関心を持つ向きも芽生えていると聞く。日本の農業に国際競争力を持たせ、食糧自給率を引き上げるのは容易なことではないが、できない話ではない。農家の理解と協力が大前提だが、国と自治体が戦略として取り組むべきだ。世界貿易機関(WTO)など国際会議で農業が矢面に立つようになって久しい。いつまでも非関税障壁や高関税で防戦できるものではない。昨年、食品偽装が問題となり、消費者の目は国産品に向くようになった。しかし、国産品は安心だが値段が高いのが難点。それを解消するには生産単位を拡大、コストを下げる以外にない。日本農業の再生は縮小ではなく拡大を目指すべきだ。

パリから西北へ、ノルマンディに向かう車中の両側に黄色の花畑が2時間続いたのが印象深い。私はその上に播州平野を重ねてみた。フランスのそれとは趣きが異なるが、田園都市としての風格は勝るとも劣らないと思う。加西市は気象、地形、水など自然に恵まれ、田園都市に相応しい。

財政厳しいなか、加西市の医療、教育、道路はもちろん、下水道、圃場整備も進んでいると聞く。住みよい生活基盤と競争力のある農業基盤の両輪がしっかりしていれば人は集まる。

最後に、加西市に話題性は似合わない。地味で愚直、しかしいぶし銀の光を放つのが播州人らしいと思う。市と住民一体となった地域づくりを期待したい。

村上政敏



【略歴】

昭10琵琶甲生まれ。昭28北条高、昭32早大卒、時事通信社入社、経済記者に。ニューヨーク特派員、大蔵省、日銀を担当。平成8から6年間社長。この間、政府税制調査会委員など歴任。仏レジオン・ド・ヌール勲章受章。現在、社団法人日本広告審査機構理事長。73歳

一度ご覧になりませんか。みなさんの代表の質問を！

■次回平成21年(3月)加西市議会定例会の日程

月日	曜日	時間	会議
3月2日	月曜日	10:00	本会議
3月4日	水曜日	15:00	発言通告期限(一般質問)
3月5日	木曜日	15:00	発言通告期限(質疑)
3月9日	月曜日	10:00	本会議(質疑・一般質問)
3月10日	火曜日	10:00	本会議(質疑・一般質問)
3月12日	木曜日	10:00	本会議(予備日)
3月13日	金曜日	9:00・13:00	総務委員会・予算特別委員会(第1日)
3月16日	月曜日	9:00・13:00	厚生委員会・予算特別委員会(第2日)
3月17日	火曜日	9:00・13:00	建設経済委員会・予算特別委員会(第3日)
3月24日	火曜日	10:00	本会議(最終日、委員長報告・採決)

※日程は変更になる場合があります。傍聴を希望される場合は、議会事務局(TEL42-8790)でご確認ください。本会議の傍聴は市役所議会棟4階でできます。

※質疑・一般質問の内容や発言順序は、3月5日(木)に加西市議会のHPに掲載予定です。

■本会議インターネット中継をご利用下さい

インターネットによる議会議中継を加西市および加西市議会のホームページからご覧いただけます。傍聴に来ることができない方でも、インターネットにより本会議開催日には生中継で本会議の様子を見ることができ、約3日後(土・日・祝日を挟む場合はさらに数日かかる場合があります。)には録画放送も見ることもできます。



加西市議会のホームページでは、本会議・委員会の日程をはじめ、質疑・一般質問の通告内容や発言順も掲載しています。ぜひ一度ホームページをごらんになって関心のある本会議や委員会を傍聴してみてください。

あなたのご意見をお寄せください

市議会だよりは、皆様と市議会をつなぐ【パイプ役】として常に『正確でわかりやすい』をモットーに編集しています。この市議会だよりをよりよいものとしていくため、皆様のご意見をお寄せください。お待ちしております。